

【地理総合面接プリント（第3回）】

はじめに
 レポートの答えは、ほとんどが教科書・資料集にあります。分からないからと簡単に
 あきらめないで、しっかり読み、調べる習慣を身につけましょう。
 （提出メ切：1月10日 期限内の提出・合格を！）

☆学習のポイント

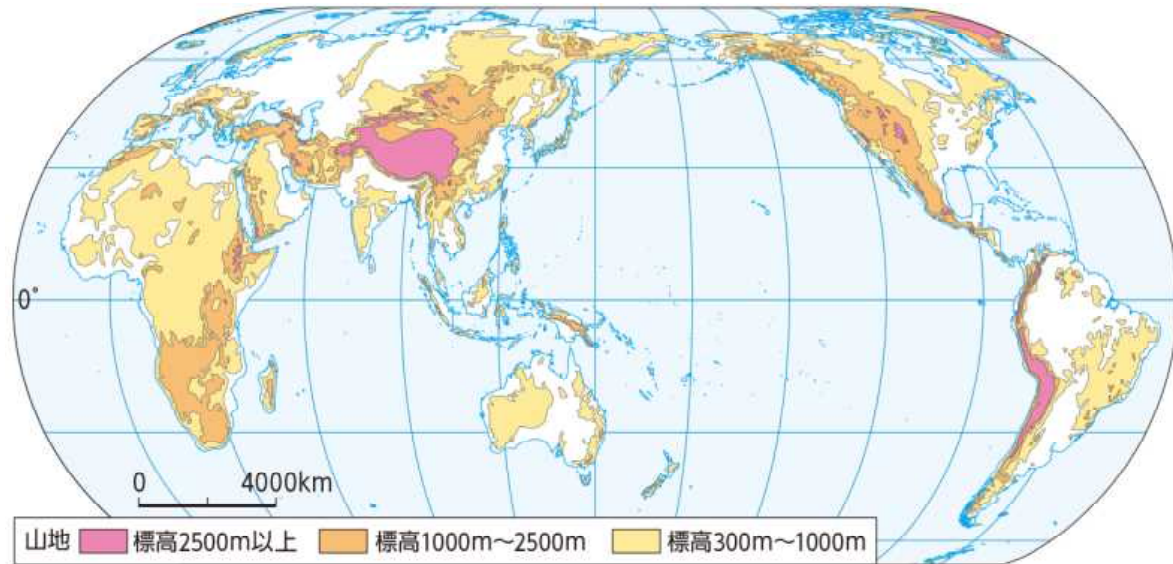
- 世界の大地形について、プレートの動きとあわせて学習します。
- 外的影響が地形にどのような影響を与えているかを学習します。
- 多様な地形や気候について、巻末2, 3の実験を参照して理解を深めます。
- 地形や気候が人々の暮らしに与える影響について理解します。

【1】「山地の暮らし」について、次の問いに答えなさい。
 （教科書P68～69, 資料集P52参照）

☆学習のポイント

- 地形と気候, 人々の暮らしを関連づけて理解しよう。

(1) (2) P68からの出題です。地形などの地理的条件と人々の暮らしを関連づけて理解することは重要です。他の地形についても復習しましょう。



【2】「平野の暮らし」について、下の文の()のなかに適語を記入しなさい。
 （教科書P70～71, 資料集P28～31参照）

☆学習のポイント

- 地形と気候, 人々の暮らしを関連づけて理解しよう。

P70, 71を復習し, 河川がつくる地形を上流から下流に向かって三つ以上あげられるようにしておきましょう。巻末3で扇状地の形成を解説する実験も見てください。

【3】「海岸の暮らし」について、次の問いに答えなさい。
 （P72～73, 資料集P32～33参照）

☆学習のポイント

- 地形と気候, 人々の暮らしを関連づけて理解しよう。

(1) P72を復習し, リアス式海岸の特徴を理解しましょう。
 (2) 教科書P73を参照にして, 沿岸流によって形成される海岸地形を理解しましょう。



【4】「世界の大地形」について、次の問いに答えなさい。
 （P74～75, 資料集P22～25参照）

☆学習のポイント

- 世界の大地形について, 地理的な分布や小地形と関連づけて理解しよう。

(1) P74からの出題です。エベレストはヒマラヤ山脈に位置する山で, 標高は8848mです。マリアナ海溝の位置も, P75の地図で確認しておきましょう。
 (2) P74の図2などで復習しておきましょう。マントルは地殻の下にあるかんらん岩からなる部分, マグマはマントルが溶けて上昇したものです。
 (3) 島弧や堆積平野, 巨大な山脈は変動帯にみられます。また火山の活動も変動帯で活発です。P75で確認しておきましょう。
 (4) 安定陸塊の楯状地には鉄鉱石の鉱床が広く分布します。銀, 銅, 亜鉛などの鉱床は火山をつくるマグマの作用で形成されます。P75で確認しておきましょう。

裏面に続く ➡

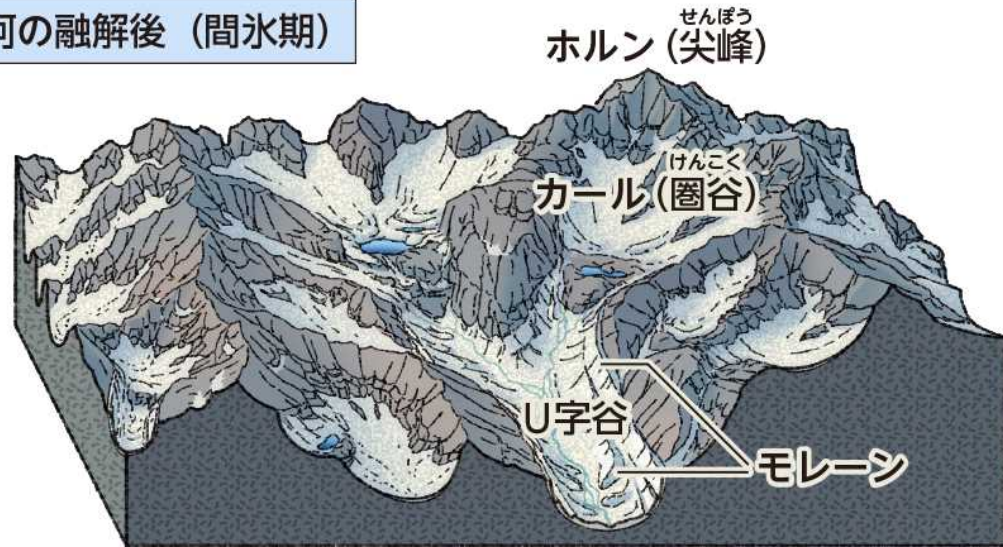
(5) 教科書P77、資料集P35を参照にして、氷河によって形成される地形を理解しましょう。

【6】「各気候区の人々の暮らし」について、次の問いに答えなさい。
(教科書P80～87、資料集P43～53参照)

☆学習のポイント

※ケッペンの気候区分に注目しよう。

氷河の融解後 (間氷期)

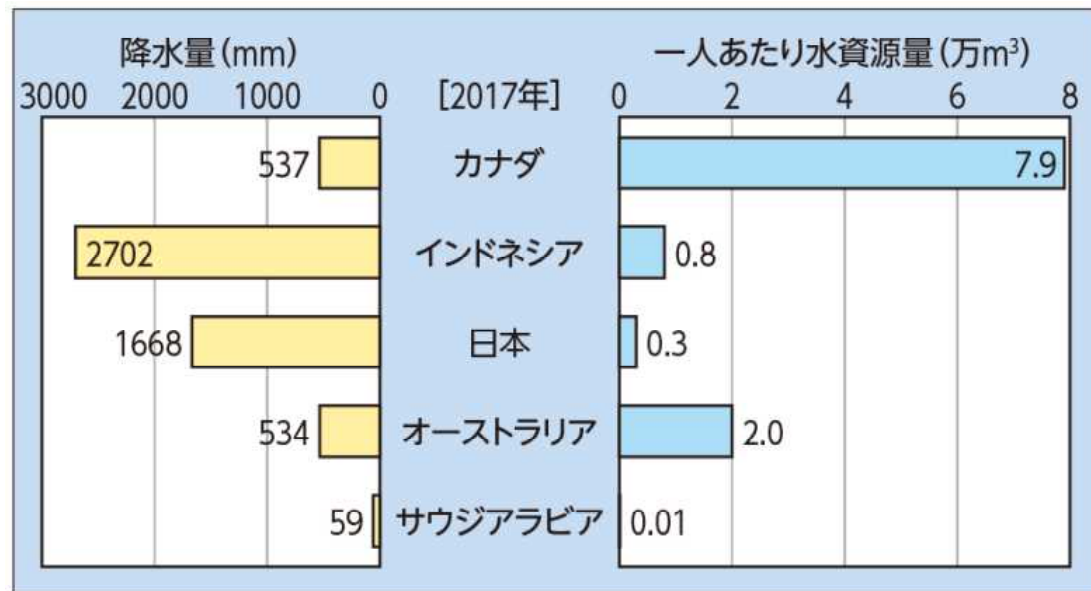


【5】「多様な気候とその分布」について、次の問いに答えなさい。
(教科書P78～79、資料集P38～42参照)

☆学習のポイント

○地形と気候、人々の暮らしを関連づけて理解しよう。

- (1) 気候の特色を理解しましょう。大陸と海洋の気温の違いは陸が冷え、陸から海へ風が吹く。これは陸と海との比熱のちがいによるものである。
- (2) P78の「生活文化の窓」を読んで、降水量だけがそこに住む人が利用できる水資源の量を決定するわけではないことを覚えておきましょう。
(資料集P166～167も参照)



気候帯	最寒月平均気温	最暖月平均気温	気候区	しつじゆかんそつ 湿潤・乾燥	分類基準	
					気温	降水量
A (熱帯)	↑	18℃	Af 熱帯雨林気候	かんき 乾季なし	最寒月の平均気温が18℃以上	最少雨月降水量60mm以上
			Am 熱帯モンスーン気候	弱い乾季あり		最少雨月降水量60mm未満 最少雨月降水量 $\geq -0.04 \times$ 年降水量+100
			Aw サバナ気候	乾季あり		最少雨月降水量60mm未満 最少雨月降水量 $< -0.04 \times$ 年降水量+100
C (温帯)	↑	18℃	Cs 地中海性気候	夏乾季・冬雨季	最寒月の平均気温が18℃～-3℃	a…最暖月の平均気温が22℃以上 b…最暖月の平均気温が22℃未満
			Cw 温帯冬季少雨気候 (温帯夏雨気候)	夏雨季・冬乾季		
			Cfa 温暖湿潤気候	年中湿潤		
			Cfb 西岸海洋性気候	年中湿潤		
D (亜寒帯) (冷帯)	↑	-3℃	Df 亜寒帯(冷帯)湿潤気候	年中湿潤	最寒月の平均気温が-3℃未満	s…夏に雨が少ない(冬雨型) w…冬に雨が少ない(夏雨型) f…年間を通じてほぼ均等に雨が降る
			Dw 亜寒帯(冷帯)冬季少雨気候	夏雨季・冬乾季		
E (寒帯)	↑	10℃ 0℃	ET ツンドラ気候		最暖月の平均気温が0℃以上10℃未満	
			EF 氷雪気候		最暖月の平均気温が0℃未満	
B (乾燥帯)			BS ステップ気候	年降水量が乾燥限界 r(mm) 未満 年平均気温を t℃とした場合	最暖月の平均気温が0℃未満	年降水量が $\frac{1}{2}r$ 以上
			BW 砂漠気候	●冬に乾季がある地方: $r=20(t+14)$ ●乾季がない地方: $r=20(t+7)$ ●夏に乾季がある地方: $r=20t$		年降水量が $\frac{1}{2}r$ 未満
H			高山気候	標高が高い土地(高度は気候帯による)		

○気候と人々の暮らしを関連づけて理解しよう。

- (1) 熱帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。(教科書P80～81、資料集P44～45参照)
- (2) 乾燥帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考えます。(教科書P82～83、資料集P46～47参照)
- (3) 温帯にはさまざまな気候区が分布しています。なぜこのような違いが現れるのか、理由もあわせて教科書P84、85ページで復習しましょう。
(教科書P84～85、資料集P48～49参照)
- (4) 亜寒帯・寒帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。(教科書P84～85、資料集P43～53参照)
- (5) 【論述問題】P85、P89で季節風やその影響について復習しましょう。
巻末2にも季節風の仕組みを解説する実験がありますので、見ておきましょう。
教科書(教科書P84～85、89、資料集P43～53参照)
- (6) 亜寒帯・寒帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考えます。(教科書P86～87、資料集P50～51参照)
- (7) P86のつぶやきを見ておきましょう。高緯度地域に分布する亜寒帯や寒帯では地表面が太陽から受け取る熱量は少なくなります。巻末の実験も参考にしてください。

☆学習のポイント ☆学習のポイント

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)

- (5)
- (6)
- (7)
- (8)
- (9)
- (10)

() () () () () ()

() () () () () ()

- (8)
- (9)
- (10)
- (11) (12)

(4)

() () () () () () () () () () () () () () () () () () () ()

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)
- (6)
- (7)
- (8)
- (9)
- (10)

() () () () () () () () () ()

